

耐塩害・高耐久性コンクリート用混和材

優れた耐塩害特性

コンクリートの耐久性を向上

コンクリート構造物の
長寿命化

ライフサイクルコストの低減

スーパーハイブリッドとは

コンクリート構造物全般に使用することによって、耐用期間を長期にわたり維持することが可能となります。おもに右記のような構造物の耐久性の向上に大きな効果が期待されます。

用途

- 棧橋、護岸等の海洋構造物や海岸近傍の橋梁・建築物
- ボックスカルパートや水路等の接水構造物
- 橋梁等の凍結防止剤の影響を受けるコンクリート構造物など



塩害

スーパーハイブリッドの特長

- スーパーハイブリッドをセメントの一部と置換することで、塩害対策をはじめとした乾燥収縮・アルカリ骨材反応などに対する**コンクリート耐久性を向上**することができます。
- ポゾラン反応の促進により、コンクリートの緻密化が促進されるため、塩化物や水のような劣化因子の浸透抵抗性が向上し、耐塩害性の向上、アルカリ骨材反応

の抑制、収縮ひび割れの抑制が図れます。これにより、**コンクリート構造物の長寿命化**が図られ、**ライフサイクルコストの低減**が期待できます。

- セメントの一部と置換して使用することで、**CO₂排出量の低減**が期待されます。
- 石炭脈石(ズリ)、フライアッシュ、高炉スラグ微粉末等を主要材料とし、産業副産物の有効活用を行っています。

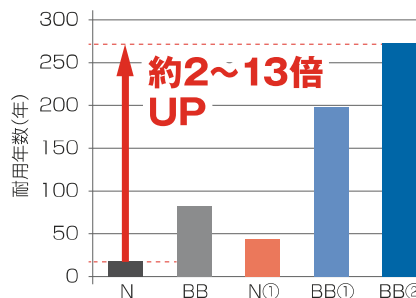
スーパーハイブリッドの使用配合例(W/B=50%)

記号	配合	W/B	単位量(kg/m ³)					
			W	結合材(B)			細骨材	粗骨材
				N	BB	スーパーハイブリッド		
N	普通セメント	50%	160	320	0	0	808	1024
BB	高炉B種	50%	160	0	320	0	804	1016
N①	普通セメント80%スーパーハイブリッド20%	50%	160	256	0	64	808	1019
N②	普通セメント70%スーパーハイブリッド30%	50%	160	224	0	96	804	1016
BB①	高炉B種80%スーパーハイブリッド20%	50%	160	0	256	64	804	1014
BB②	高炉B種70%スーパーハイブリッド30%	50%	160	0	224	96	798	1011

耐塩害性

- スーパーハイブリッドを置換することで**耐塩害性が向上し、混和することにより2~13倍(参考値)の耐塩効果が期待できます。**

- N: 普通セメント
- BB: 高炉B種
- N①: 普通セメント80%スーパーハイブリッド20%
- BB①: 高炉B種80%スーパーハイブリッド20%
- BB②: 高炉B種70%スーパーハイブリッド30%

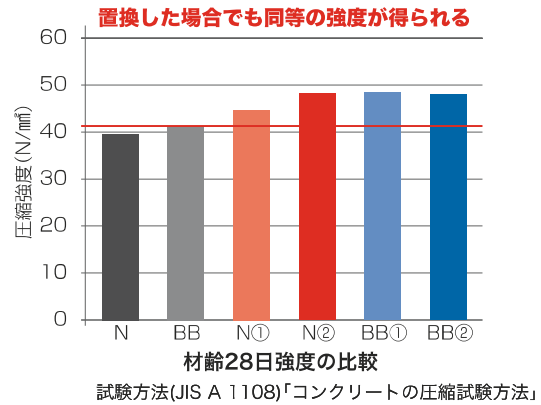


算出された拡散係数に基づく塩分浸透予測結果
(W/B=50%:かぶり厚5cmの場合)
試験方法「塩分浸透性試験(電気泳動法)」

強度特性

■セメントの一部をスーパーハイブリッドで置換しても**同等以上の強度を確保**できます。

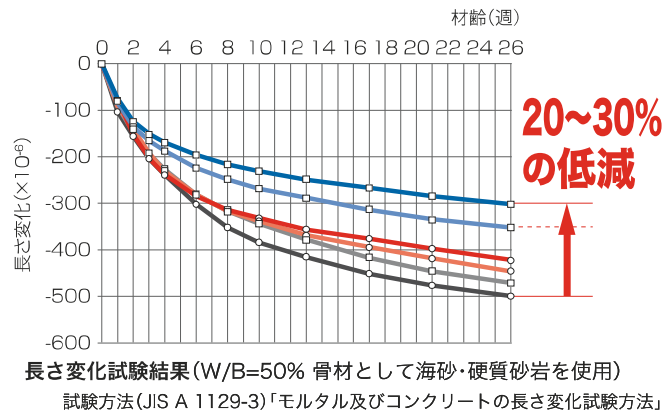
- N: 普通セメント
- BB: 高炉B種
- N①: 普通セメント80%スーパーハイブリッド20%
- N②: 普通セメント70%スーパーハイブリッド30%
- BB①: 高炉B種80%スーパーハイブリッド20%
- BB②: 高炉B種70%スーパーハイブリッド30%



乾燥収縮特性

■スーパーハイブリッドの効果により乾燥収縮ひずみが**20~30%低減**されます。

- N: 普通セメント
- BB: 高炉B種
- N①: 普通セメント80%スーパーハイブリッド20%
- N②: 普通セメント70%スーパーハイブリッド30%
- BB①: 高炉B種80%スーパーハイブリッド20%
- BB②: 高炉B種70%スーパーハイブリッド30%



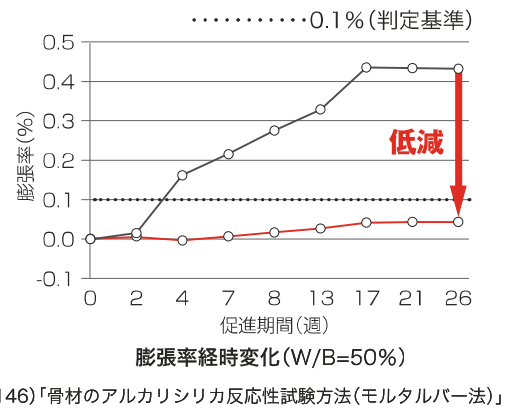
アルカリシリカ反応特性

■セメントの30%をスーパーハイブリッドで置換することにより抑制効果が得られます。



アルカリ骨材反応

- 普通セメント N: ○
- 普通セメント70%
スーパーハイブリッド30% N②: ○



⚠ 注意事項

- コンクリートの打込みは、日平均気温が4℃を超え25℃以下の範囲に予想されるときに実施して下さい。予想がこの範囲にない場合は各仕様書に従って下さい。
- 打設時のコンクリート温度は、35℃以下を標準として下さい。
- 製品の保管は湿気の少ない場所にパレット等を利用し地面(床)より離して保管して下さい。
- 直射日光のあたる場所、また風雨の当たる場所に保管する場合は、シート等をかけるなど十分に注意をして長期の保存は避けて下さい。
- 適切な保護具(ゴム手袋・保護メガネ・マスク等)を着用して下さい。 ●製品使用後は、顔、手、口等は清浄な水で洗浄して下さい。
- 目に入った場合は速やかに多量な清浄水で洗浄し状況に応じて眼科医の診断を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合は、付着した部分を清潔な石鹸で流したのち、状況に応じた医師の診断を受けて下さい。
- 吸引し気分が悪くなった場合は、速やかに空気の新鮮な場所に移動しうがいを行って下さい。
- 誤って飲み込んだ場合は、多量の水を飲み吐き出したのち、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 飛散した粉末は掃除機等で吸い取り回収して下さい。 ●内部で廃棄処理する場合は該当法規に従い廃棄処分を行って下さい。
- 外部に委託される場合は廃棄物処理業者に内容を明確にし、処理を委託して下さい。